

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 「リハビリテーション中にできる日常生活動作」と「病棟でしている日常生活動作」の乖離に関連する要因の検討

[研究責任者] 医療技術局リハビリテーション室 横山勝哉

[研究の背景] 当院 6 階南病棟において多職種間での脳卒中患者のリハビリテーション(以下、リハビリ)介入目標共有に重点が置かれるようになり、令和 2 年度より「リハビリ看護計画書」の運用が開始することとなった。それにより、臨床の中で目標共有が可能となったが、リハビリ中にできる日常生活動作(以下、「できる ADL」)と病棟でしている日常生活動作(以下、「している ADL」)に乖離が生じている患者が少なからず存在することが課題として挙げられた。「できる ADL」と「している ADL」の差異について、回復期病院入院患者を対象とした報告は散見されるが、急性期病院入院患者を対象にした報告は少なく不明な点が多い。本研究では当院における脳卒中連携パス使用者に対して、「できる ADL」と「している ADL」に乖離がない患者とある患者で入院時・入院中・退院時の背景情報や身体機能検査、認知機能検査等でどのような要因に違いみられるか調査する。本研究で「できる ADL」と「している ADL」の乖離に関連する要因が明らかとなれば、今後の臨床場面での「できる ADL」と「している ADL」の乖離の改善・予防さらには、「している ADL」の向上に繋がると考える。

[研究の目的] 脳卒中患者における、リハビリ時には実施可能な「できる ADL」と実際に病棟で行っている「している ADL」の乖離に関連する要因について診療情報を用いて調査する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん:西暦 2019 年 4 月 1 日から西暦 2021 年 3 月 31 日の 2 年間において脳血管疾患にて岡崎市民病院に入院し、リハビリを実施しつつ脳卒中連携パスを使用した患者

●研究期間 審査終了後から西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

①背景情報:年齢、性別、身長、体重、診断名、脳血管疾患の病巣、現病歴、既往歴、併存疾患、服薬情報、入院前日常生活動作(以下、ADL)、神経学的所見、ADL に関する診療記録、リハビリに関する診療記録、歩行様式、入院期間

② ADL:機能的自立度評価法(以下、FIM)

③ 身体機能検査:脳卒中機能評価法(以下、SIAS)、Brunnstrom Recovery Stage(以下、BRS)、modified Rankin Scale(以下、mRA)

④ 認知機能検査:改訂長谷川式認知症スケール(以下、HDS-R)、Mini Mental State Examination(以下、MMSE)

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者 医療技術局 リハビリテーション室 正作業療法士 横山勝哉

●その他の共同研究機関 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

研究責任者 先端医療開発推進センター 臨床研究支援主任 田中誠也

[研究実施について同意しないこと及び同意を撤回することの自由について]

ご自身の情報が、本研究に利用されることにご同意いただけない場合には、研究に使用する情報からあなたにかかる情報を削除いたしますので、お問い合わせ先にご連絡いただけますようお願いいたします。研究期間の途中であっても構いません。また、情報の削除依頼をしたことにより、不利益を被ることはございません。ただし、ご連絡をいただいた時点で、研究結果が学会や論文等で既に公開されている場合などには解析結果を削除できないことがあります。

[研究についての情報公開]

この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文章でお渡しすることができます。希望される方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡下さい。なお、この研究に参加しているほかの方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提供する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除し、研究用の番号をつけます。また、研究用の番号とあなたを特定可能な情報を結びつける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究に携わらない第三者が適切に管理し、院外には持ち出しません。

情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である国立長寿医療研究センター研究責任者田中誠也が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局 リハビリテーション室 横山勝哉

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913